

あおぞら!

2025津南小学校6学年便り No.13

R7.9.16

津南小 HP

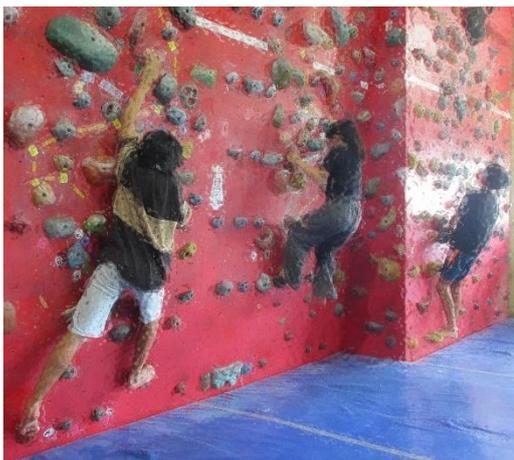


未来につなげ みらい教室

先週、津南町教育委員会が主催する「みらい教室」に参加した6年生。会場には上郷・芦ヶ崎小学校の児童や津南中の生徒、スタッフの方々が集まり、英語を使ったゲームや活動を通して、たくさんの交流を楽しみました。振り返りからは、普段の学校生活では味わえない体験の中で、仲間と力を合わせる大切さや、自分の思いを伝える喜びを感じる姿が表れていました。

2泊3日を終えて帰ってきた子どもたちは少し疲れた様子でしたが、その表情には達成感があふれていました。ご家庭でも、きっと子どもたちからいろいろなお話が聞けたことと思います。

この活動が、今後の小・中学校生活やその先の未来につながる仲間や思い出づくりになったことでしょう。



感想より

僕が1番楽しかったのは2日目です。まず初めにボルダリングをしました。ボルダリングは初めてでとても難しかったけど、少しはクリアできました。次にローロープスをしました。ローロープスはとても難しく、友達と協力してクリアしました。最後にダンスパーティーをしました。みんなでたくさんのダンスを踊りました。未来教室の中でダンスパーティーが1番楽しかったです。

みらい教室でたくさんの思い出を作ってきました。1日目も2日目もとても楽しい日になりました。3日目は中学生と一緒にミニゲームをたくさんして、中学生とも仲良くなることができました。初めて知った「ニンジャ」や「ガガゴ」という遊びや、カヤックやボルダリングなどの体験も、とても楽しい思い出になりました。スタッフの皆さん全員がとても明るく、とても楽しそうに私たちとかかわってくれました。ご飯も全て豪華でおいしかったです。

反省会の時に、中学生からこれからのアドバイスをもらいました。全員が「勉強が難しくなるとにかく大変」と教えてくださいました。今回の未来教室でいろいろ学べてよかったです。



9/1・2 多様性についての学習

地域生活支援センターあおぞらのスタッフの方を講師にお迎えし、「多様性」について学習しました。2日間にわたって行われた授業では、多数派(マジョリティ)が正しいとは限らないことや目には見えない障がいがあることを知ったり、同じ出来事でも人によって感じ方が違うことを体感したりしました。「みんな違ってみんないい」、それぞれの個性や違いを大切にし、尊重し合う学年でありたいという思いが深まりました。



- ▶ いろいろな障がいを持ちながらも生きている人がいることを学べた。「分からないからやめる」じゃなくて「わかるまでやる」ことが今の自分の生活に生かせそう。個々の性格を大事にしていきたい。
- ▶ 多様性の話を聞いて「みんな違ってみんないい」が分かった。自分が苦手なことも工夫しながらやろうと思った。これからもちょっと多様性に意識をもとうと思った。
- ▶ 一人一人違いがある。だからこそ人それぞれの良さがあると思う。自分も苦手なことがあるけどそういう人はたくさんいると思うし、みんな違ってみんないいから、人の違いや気持ちなどを尊重して理解したいと思いました。